

巻頭言

創刊によせて

跡見学園女子大学文学部臨床心理学科
学科主任 山口 豊一

跡見学園女子大学文学部臨床心理学科は、平成14年度の大学の新学科設立に伴い開かれました。「あらゆるフィールドで、知識と技能を生かせる、多様な視点を持った“こころの専門家”」の養成をめざしています。ゆえに、発達心理学や教育心理学、社会心理学など、臨床心理学のほかにも幅広い領域も学べるカリキュラムと、「カウンセリング実習」のように、実際に学校組織に参加して学べる体験的な学習の機会が備わっています。こうした環境で心理学を学んだ学生たちは、卒業後に様々な分野で活躍しております。

我が国において心理学は比較的歴史の新しい学問ではありますが、近年の注目の高さは著しく感じております。平成7年にスクールカウンセラーの中学校全校への配置がなされ、心理専門職が子どもたちを援助する土台を築きました。同時に、心理学の役割や必要性について一躍世に広めたことと思います。一方で、年間3万人を超える自殺者数は憂うべき我が国の現状を示しており、心理専門職として早急に取り組むべき課題であると考えます。本校で臨床心理学を学んだ皆様が、その経験と知見を生かして、より良い社会の一助になることを期待します。

こうした中で、跡見学園女子大学文学部臨床心理学科では、このたび「紀要」を創刊し、臨床心理学に関する研究の成果を内外の関係機関に発表の機会をもつこととなりました。掲載される研究が、有意義な形で活用されれば幸いに思います。また、学内外を問わず、今後とも皆様にはご教示・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。